

2018年1月29日

中部支部長 赤壁弘康（南山大学）

2018年度日本観光学会中部支部大会

日時：2018年3月16日（土）13:00～18:00、3月17日（日）9:30～13:00

場所：2018年3月16日 南山大学 名古屋キャンパス J棟5階J55教室

2018年3月17日 愛知大学 名古屋校舎 本館20階会議室

3月16日（土）13:00～17:00（南山大学経営研究センター「観光経済経営学」ワークショップ共催）

13:00～13:15 日本観光学会中部支部総会（中部支部長 赤壁弘康）

13:15～13:30 観光経済経営研究会次年度運営方針（研究会代表 麻生憲一）

13:30～17:00 研究報告会

報告会終了後に懇親会予定（南山大学ワークショップ代表 南川和充）

① 13:30～13:55

論題：遺跡展示施設の最適立地に関する定性的考察：2遺跡1展示施設のケース

報告者：江口善章**（兵庫県立大学）

討論者：竹澤直哉*（南山大学）

② 14:00～14:25

論題：地域活性化に向けた観光政策のあり方について

報告者：堀 智考*（岐阜県・岐阜経済大学地域経済研究所）

討論者：天野景太**（大阪市立大学文学部）

③ 14:30～14:55

論題：「奄美・沖縄」の世界遺産登録に向けた問題点—観光の社会的効果の視点から—

報告者：深見 聡（長崎大学）

討論者：有賀敏典**（国立環境研究所）

④ 15:00～15:25

論題：訪日タイ人観光客に対するインバウンド政策に関する一考察

報告者：野呂純一**（学習院大学）

討論者：赤壁弘康*（南山大学）

⑤ 15:30～15:55

論題：みやげ品小売の変遷について（仮題）

報告者：津田康英**（奈良県立大学）

討論者：角本伸晃**（実践女子大学）

⑥ 16:00～16:25

論題：観光土産品（特に菓子類）の経済分析—土産品小売店の集積メカニズム—（仮題）

報告者：角本伸晃**（実践女子大学）

討論者：津田康英**（奈良県立大学）

⑦ 16:30～16:55

論題：中華圏流行歌の歌詞から見る「旅」—「網易雲」サイトの40万曲を調査した結果

報告者：林 涛*（愛知大学大学院博士課程）

討論者：野呂純一**（学習院大学）

⑧ 17:00～17:25

論題：観光の経済効果推計：応用一般均衡モデルの観点から

報告者：長原 徹（芝浦工業大学）

討論者：江口善章**（兵庫県立大学）

3月17日（日）（愛知大学経営学会ワークショップ「観光および交通からみるまちづくり」共催）

9:30～12:30 研究報告会

① 9:30～9:55

論題：Inbound preparedness of restaurants and accommodations in heritage destinations

報告者：PERLAKY Denes**（山口大学大学院博士課程）

討論者：南川和充*（南山大学）

② 10:00～10:25

論題：地域事業者間の自発的連携によって地域の6次産業化の実現は可能か—2次産品が乳製品である場合—

報告者：竹澤直哉*（南山大学）／赤壁弘康*（南山大学）

討論者：麻生憲一**（立教大学）

③ 10:30～10:55

論題：幽霊と観光

報告者：井出 明（金沢大学国際基幹教育院）

討論者：天野景太**（大阪市立大学）

④ 11:00～11:25

論題：携帯電話位置情報ビッグデータを用いた1日の人間行動の推計

報告者：有賀敏典**（国立環境研究所）

討論者：竹澤直哉*（南山大学）

⑤ 11:30～11:55

論題：広域観光の空間経済効果に関する研究

報告者：澁澤博幸*（豊橋技術科学大学）／M. V. PATADIANAN（豊橋技術科学大学）

討論者：長橋 透**（青山学院大学）、野呂純一**（学習院大学）

⑥ 12:00～12:25

論題：台湾旅行会社の訪日着地型観光商品ニーズと観光関連組織間の連携

報告者：島宗俊郎*（名古屋短期大学）

討論者：新納克広**（奈良県立大学地域創造学部）

備考：*日本観光学会中部支部会員、**日本観光学会会員（平成28年度版による）